

かけはし

2017(平成29)年

9月号 No.135



こくさいゆうこうきねんとしよかん
国際友好記念図書館

〒801-0853 北九州市門司区東港町1-12
TEL 331-5446 FAX 331-5428

北九州市立図書館 HP アドレス

<http://www.toshokan.city.kitakyushu.jp/>

開館時間 平日 9:30~19:00 (土日祝 18:00 まで)

今月の特集



中華人民共和国の首都であり、英語ではBeijing (ベイジン) と発音します。元代には「大都」という名で、モンゴル帝国の中心でした。明代に「北京」となってから現在まで、ほとんどの時代で中国の都としての役割を果たしています。人口は約2100万人(2015年当時)で、上海に次ぐ中国第2の都市として政治・経済の中心となっています。2008年8月には、夏季オリンピックとパラリンピックが開催されたのも記憶に新しいですね。

今年(2017年)日中国交正常化45周年を迎えますが、日中共同声明の調印式など、その際の主な舞台となったのもこの北京でした。

北京

北京について書かれた

絵本・児童書

◎「北京 中軸線 上につくられたまち」

于大武：作
文妹：訳

◎「中国 ナショナルジオグラフィック」

ジェン・グリーン：著
ジョージ・ウェイ/
ハンチャオ・ルー：監修

「北京物語 黄金の甕と朱楼の都」 林田慎之助：著

10世紀に契丹人が都城を構えて以来、数々の王朝の都として繁栄してきた北京。フビライ、永楽帝、西太后などの権力者たちの野望に迫り、千年の都に躍動した英雄や庶民の姿を描きます。

「図説北京 三〇〇〇年の悠久都市」 村松伸：文 浅川敏：写真

マルコポーロが驚嘆した史上空前の巨大都市。皇帝たちの栄華の都で壮麗な宮殿や宮廷文化、さらに中国動乱の舞台となった地を探索し、その誕生から現在までを写真と美しい図版で綴ります。

「北京を見る読む集める」 森田憲司：著

モノ・地図・本の話から知られざる史蹟めぐりまで、北京の街と歴史にまつわるさまざまな話題を取り上げ、貴重な図版資料とともに紹介します。ひと味違ったディープでこだわりの北京案内記です。

「真夜中の北京」 ポール・フレンチ：著 笹山裕子：訳

1937年1月の朝、英国人の少女の惨死体が狐狸塔の下で発見された事件を、中国と英国の歴史的文書を調査し推察しました。世界の列強に支配された、当時の北京の複雑な情勢が垣間見えてきます。

「乾隆帝の幻玉 老北京骨董異聞」 劉一達：著 多田麻美：訳

中華民国時代の北京を舞台に、清国皇帝の遺物である玉器を巡って様々な人間の思惑が絡み合います。

押し寄せる変革の嵐の中、庶民の熱い息遣いも鮮やかに在りし日の北京が甦ります。

「画文集 北京横丁」 石丸弥平：文・絵

9月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

9/19(火)~22(金)は臨時休館です

■はおやすみの日です。

ほかの としょかんとは
おやすみの日がちがうことがあります。
お気をつけください!

